

知識習得講座カリキュラム（案）

日程		タイトル（案）	目標（案）	内容（案）	講師（案）
第1回	8月16日(月) 16:45～	山陰に求められる観光人材とは？	参加受講生自身が、山陰の観光人材という気概を持っていただき、求められる人材として明確ミッションを描いていただく。	当機構が考える、様々な領域で必要とされる人材について解説。また、当機構事業で実施する内容と、受講生の役割を提示します。	山陰インバウンド機構 シニアマネージャー 米村康幸
		「観光」とは何か？ 日本の現状と観光政策、未来は？	①今までの観光産業の位置づけと、今後の観光産業の位置づけを知る。②国の政策と戦略（今後とこれから）を知る。③地方創生の最後の切り札「観光」の意味を理解する。④ 背景となる情報を整理、理解することで、受講生自身のミッションを明確化していく。	1990年代以降の日本経済の状況と観光政策を概観し、観光産業界の流れ、過去、近年の状況について、国内外の観光需要や観光事業者の状況を交え解説します。そして、日本全体の社会経済背景に今後の観光政策や戦略を解説。また、今後の地方創生における「観光」と役割を提言。	株式会社日本政策投資銀行 地域調査部 課長 内藤貴子 氏
第2回	8月23日(月) 19:00～	<ul style="list-style-type: none"> 山陰地域の現状（社会/経済/観光）・観光事業者の現状と未来 山陰インバウンド機構の戦略 	① 山陰の社会、産業構造を知る。 ② 山陰における「観光」の取組の意義を知る。 ③山陰における「観光」の可能性を知る。⑤山陰インバウンド機構の戦略を知る。⑤山陰における「観光」意義、可能性を知ること、 受講生自身のミッションの方向性を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> 山陰の現状を社会・産業構造の面から過去・現在・未来について、そして山陰における観光の位置づけや役割について解説。また、調査事業により明らかになった山陰の魅力についても解説します。 山陰インバウンド機構の戦略も解説します。 	公益財団法人中国地域創造研究センター 主席研究員 吉原 俊朗 氏 山陰インバウンド機構 部長 福岡一之
第3回	8月30日(月) 19:00～	地域を豊かにする観光事業創出とまちづくり～矢掛町での取組より～	事例を元に、 持続的な地域づくり、持続的な事業、また、そういったことに必要な要素、考え方を 学んでいただきます。そして、受講生自身が地域や企業、また事業においてどういった役割を担うべきか、検討いただく。	持続的なまちづくりの実例として、岡山県矢掛町の取組事例をもとに解説します。まちづくりに必要な要素、観光の考え方、地域における自治体・民間・コミュニティの役割、人材について解説。また、企業経営、地域経営についても解説します。	(株)シャンテ 代表取締役 安達精治氏
第4回	9月6日(月) 19:00～	地域づくりの現場と関係人口が地域にもたらすもの	地方における地域課題と、「関係人口」創出の意義を知る。そして、「 関係人口 」創出と「 観光 」の取組を考察する。「観光」の取組が、地域の存続・維持にどれだけ重要であるのか、また、 正しい「観光」の取組について理解を深める。	地域を存続させるための地域づくり、関係人口概念を知っていただく。関係人口概念は、「観光」の取組と深く関係あること、公共サービスの維持と「観光」の取組の親和性について解説します。（公共政策、まちづくりビジョンと「観光」）	島根大学教育学部（人文地理学）教授 作野宏和氏 (株)シャンテ 代表取締役 安達精治氏
第5回	9月13日(月) 19:00～	地域資源を活かした持続的な観光事業を展開する為には	各受講生の課題解決や、計画の具現化や展開を進める為、参考となる事例を知っていただき、また、 観光マーケティングの観点から、自身の計画をあらためて検討 いただく。	コロナ前に実践された観光需要創出の事例を元に、コロナ禍で分かったこと、コロナ後に目指すべき地方の「観光」ビジネスの展開手法を解説します。 「観光で地域を売り込む」為、どんな考え方、手法が必要か（観光マーケティング）、事例を交え解説 します。	(株)mint 代表取締役 石飛 聡司 氏
第6回	9月27日(月) (仮)	外国人目線での山陰の魅力とは？ これからの地方が取組むべき「観光」とは？	外国人目線の評価を知り、資源の価値化の方向性を考える。マーケティングの重要性を外国人目線を知ること、再確認する。どんな視点での ストーリー が必要か検討する。	山陰を知っている在住外国人専門家により、外国人目線での山陰の魅力や、地域資源の活かしかたを解説します。また、山陰に有るありのままの物を価値化して商品化していく為の考え方を解説します。	山陰インバウンドアドバイザー アリス・ゴードンカー氏

(※) 第7回目以降の日程、内容等は調整中。（全12回）

(※) 知識習得講座のほか、ゼミやモニターツアー等も実施予定。